

東北地方交通審議会  
第200回船員部会

議事要録

令和7年6月27日  
東北地方交通審議会  
船員部会事務局

# 東北地方交通審議会 第200回船員部会

日 時 令和 7 年 6 月 2 7 日 (金) 1 3 : 3 0 ~

場 所 Web開催

出 席 者 公益委員 : 阿部部会長、古谷部会長代理、豊田委員

労働者委員 : 甲斐委員、高橋委員、奈良委員

使用者委員 : 千葉委員、平岡委員、村上委員

運 輸 局 : 真田海事振興部長、熊谷海事振興部次長、

菅野船員労働環境・海技資格課長

柳松船員労政課長、上村専門官、小野寺労政係長

1. 開 会

2. 議 題

(1) 管内の雇用等の状況について

(2) 情報提供について

(3) その他

3. 閉 会

(資料)

資料 1 船員職業安定業務取扱状況説明資料 (4月分)

資料 2 新規求人・求職数 (東北管内: 3年対比)

資料 3 有効求人・求職数 (東北管内: 3年対比)

資料 4 新規求人・求職数 (全国)

資料 5 有効求人・求職数 (全国)

資料 6 有効求人倍率 (東北管内)

資料 7 有効求人倍率 (全国)

資料 8 船員等海事産業人材の確保・育成

参考資料 船員の特定最低賃金の改正に関する検討資料

◎開 会

【熊谷海事振興部次長】

〔第200回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料確認〕

◎議 事

【阿部部会長】

それでは、早速議事に入りたいと思います。

お手元にあります議事次第の「議題（1）管内の雇用等の状況について」、事務局から説明をお願いいたします。

〔柳松船員労政課長から資料1～8に基づき説明〕

【阿部部会長】

ただいま事務局から資料等の報告がありましたが、ただいまの報告内容について、何か皆様からご意見あるいはご質問等ありますでしょうか。

【高橋労働者委員】

質問よろしいでしょうか。

資料1の3ページ、求職のところの漁船その他ですが、今回12名と人数が増えていますが、こちらの離職された方の業種を教えてください。

【柳松船員労政課長】

業種につきましては不明な部分がございます、調査しまして次回の部会でご回答申し上げたいと思います。

【阿部部会長】

次回改めて報告させていただくということですが、よろしいですか。

**【高橋労働者委員】**

分かりました。

**【阿部部会長】**

ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

**【村上使用者委員】**

資料8の、海事産業人材の確保・育成の説明のなかで「めざせ！海技者セミナー in 仙台」について、こちらが去年7月3日に開催され、来場が116名、そのうち学生が114名、一般の方が2名という説明でしたが、この後、ここで面談した会社に一般の方が就職したとか、学生の方が今年の春卒業した後就職した等の追跡等を行っているのでしょうか。もし行っていたら、結果があるのであれば教えていただきたいと思います。

**【阿部部会長】**

ありがとうございます。

セミナー後の結果はいかがかというご質問だと思いますが、いかがでしょうか。

**【真田海事振興部長】**

具体的な数字まではお答えできないと思いますが、実際にこの海技者セミナーのときに、各社の説明のほか面談も実施しておりまして、このセミナーを踏まえて就職したという方がいることは聞いておりますので、そちらで報告させていただきたいと思います。

**【村上使用者委員】**

分かりました。ありがとうございます。

**【阿部部会長】**

ありがとうございました。そのほかいかがでしょうか。

ないようですので、ご了承いただいたものといたします。

それでは、続きまして、「議題（2）情報提供」に移りたいと思います。

委員の皆様から情報提供などをお願いいたします。

初めに、労働者委員の方からご発言をお願いします。高橋委員、お願いします。

**【高橋労働者委員】**

6月13日に東北の船員教育機関6校から7名の先生方、行政のほうは東北運輸局から柳松船員労政課長、水産庁からも1名出席いただいております。あと水産関係会社及び関係団体のほうから28名、海員組合の執行部を合わせて総勢47名で、去年までは「東北地区船員教育機関、海運・水産会社等関係者との懇談会」という題名で懇談しておりましたが、今年からは具体的な懇談という意味合いも含めまして、「東北地区船員就職支援懇談会」という題名に改めて開催しました。

この懇談会は今回で9回目になりますが、地域採用にあたっての取組、また船員の定着、離職などについての意見交換をしております。東北運輸局からは、東北管内の求人・求職状況について報告していただきました。

**【阿部部会長】**

ありがとうございました。

続きまして、甲斐委員お願いいたします。

**【甲斐労働者委員】**

八戸地区の労働協約改定交渉です。旅客船1社妥結をいたしました。妥結内容ですが、一律5,950円のベースアップ、プラス経験加給ということで、部員で8,900円、3.49%の増額です。

次に、年間臨時手当交渉ですが、港湾会社1社妥結をしております。昨年対比2割減、0.2ヶ月減で妥結しております。なお、旅客船会社については現在も交渉中という形になっております。

**【阿部部会長】**

ありがとうございました。

続きまして、奈良委員お願いいたします。

**【奈良労働者委員】**

それでは、気仙沼地区の情報を報告させていただきます。

気仙沼地区の近海マグロ、9隻ありますが、昨年の水揚げということで報告させていただきます。9隻の1隻当たりの平均水揚げは464トン、金額にして2億6,500万円で、過去1隻平均の額としては最高額の水揚げとなりました。内訳といたしましては、メカジキの豊漁に加えまして、ヨシキリザメの単価が上がったことなどが挙げられております。これまで過去1隻平均の最高額は、令和2年の1隻平均2億4,000万円が最高だったわけですが、昨年度は2,000万円上回ったという水揚げ内容になっております。

**【阿部部会長】**

ありがとうございました。

ほかに労働者委員の皆様から補足することがあるでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは次に、使用者委員の方からご発言をお願いいたします。まず、平岡委員お願いします。

**【平岡使用者委員】**

海技教育機構の海上技術学校及び海上技術短期大学の令和6年度卒業生341人中、海上産業へ就職した者は314人、海事関係分野への進学した者は18人でした。一方、海上技術学校2校及び海上技術短期大学5校の令和7年度の定員405人に対して、577人の応募があったものの、入学者数は390人と定員割れとなりました。定員数の充足に向けた取組が課題となっております。

**【阿部部会長】**

ありがとうございました。

続きまして、千葉委員をお願いいたします。

**【千葉使用者委員】**

毎年、我々の業界団体であります日本旅客船協会のほうから、国へ要望書を提出しております。今年は6月12日付で提出しておりますが、重点要望12項目、個別の事案で中央でまとめきれなかった項目を、その他の課題に対応した要望としてまとめた6項目、計18項目を要望書として提出しております。全てをここで報告することは困難ですので、主な2項目を例としてお伝えします。

まず、船舶用燃料油に対する価格高騰対策の継続を要望しております。これは我々旅客船業界だけにとどまらず、他の船舶の業界団体にも多大な影響を与えておりますので、ぜひ実現してもらいたいと考えておりますし、昨今の中東情勢も不安定で混沌としている中ですので、何とか実現してもらいたいと思っております。

2つ目としましては、船員部会でもありますとおり、船員の確保対策の推進ということをお願いしております。旅客船の船員不足も深刻化しており、喫緊の課題ですので、これはぜひ間口を広げるという意味でも推進していったらよいということと、これに関連しますが「ふなのりゆめ奨学金」については、海上技術短期大学校の特待制度ですが、2年間総額約100万円の奨学金が給付されるものでありますが、旅客船会社への就業に関しては適用されませんので、このあたりをぜひ適用するよう旅客船協会として要望しております。

**【阿部部会長】**

ありがとうございました。

続きまして、村上委員お願いいたします。

**【村上使用者委員】**

前回の199回船員部会で、気仙沼の近海マグロ延縄船の、操業体験プロジェクトを行うという報告をさせていただきました。気仙沼のかなえ漁業株式会社のはやま丸で、3名が操業体験のため乗船するということで進められて、新規の体験者3名を乗せ先週6月20日に気仙沼港を出港しております。通常の操業よりも釣りの数を減らしたり、休みを多く取りながら、約1か月の操業体験を行い、7月の中頃入港の予定で、現在、順調に操業しております。

**【阿部部会長】**

ありがとうございました。

今、情報提供いただきましたが、ほかに使用者委員の皆様から補足することはありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、なければ、情報提供の全般について、何か皆様のほうからご質問あるいはご意見ありますでしょうか。

それでは、ないようですので、次に移りたいと思います。

「議題（3）その他」に入りたいと思います。

参考資料がありますが、船員の特定最低賃金の改正に関する検討資料について、事務局から報告をお願いいたします。

〔柳松船員労政課長から参考資料に基づき報告〕

**【阿部部会長】**

ありがとうございました。

ただいま参考資料の報告がありましたが、ただいまの報告内容について、何か皆様のほうからご意見あるいはご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それではほかに、本日の部会全般について、皆様から何かありますでしょうか。

それでは、ないようですので、本日の議事に関しては終了となります。

次回の船員部会は7月25日金曜日、13時30分から、本日と同じようにウェブでの開催になります。

最後に、事務局から連絡事項等がありましたらお願いいたします。

**【熊谷海事振興部次長】**

事務局からは、議事要録についてのご連絡になります。

郵送しておりました5月開催の第199回の議事要録案につきまして、内容をご確認いただき、修正がございましたら7月10日木曜日までにご連絡をお願いいたします。

また、第198回議事要録案につきましては、修正のご連絡等ありませんでしたので、郵送しております議事要録で確定版とさせていただきます。

以上で本日の第200回船員部会を終了いたします。

間もなく今年上半期も終わり、これからますます暑さが厳しくなっておりますので、皆様どうぞお体をご自愛ください。本日は大変お疲れさまでございました。ありがとうございました。

◎閉 会